

ふれあい つながり かわら版

今できる小中一貫教育(4)

「何ができるようになるか」 を共有した各学校の取組

分離型で小中一貫教育を推進するためには、「目指す子供像」を明確にし、「何ができるようになるか」を共有することによって、学校ごとでそれぞれ取組を進めることができます。本号では東光中ブロックの取組を紹介します。

東光中ブロック10年間の成果

東光中ブロックでは、これまで、ライフスキル教育、ネット活用ルール作り、小中合同あいさつ運動、互いの学校の研究授業の参観などに取り組んできました。

小中教職員が協働して様々な取組を行う中で、多様な子供一人一人が心豊かに成長してほしいと願うベクトルがそろい、太く強くなりました。そして、教職員、保護者、地域住民がそろって児童生徒の変化を実感できたことが10年間の大きな成果と言えます。

次の10年に向け、この取組を一層充実させるためには、家庭や地域の力も不可欠と考え、子供に身に付けさせたい力を明確にし、「みかつきプラン」として示すことにしました。

姫路市教育委員会
学校指導課
小中一貫教育推進係
(079)221-2120



新たな構想「みかつきプラン」(4つの力)

「みかつきプラン」とは、子供たちの将来を見据え、必要となる4つの力をしっかり身に付けさせ、三日月が満月になるような成長を願うプランです。

子供や地域の実態をもとに、教職員の願いを込めて設定した4つの力は、保護者や地域住民と共有しやすいものになっています。この4つの力を「みかつきプラン」のポスターなどで積極的に発信し、これらの力を身に付けた目指すべき子供の姿を明確に共有しながら、学校・家庭・地域が三位一体となったプロジェクトへ発展することを目指しています。

今後は、合同あいさつ運動など3校で足並みをそろえた活動はもちろんのこと、学校ごとの特色を生かした独自の活動であっても、東光中ブロックブランドカリキュラムを活用して、同じゴール(育みたい力)を目指した取組を進めていきます。

新たに設定した「目指す子供像」

- 「み」とめあう力
自分も他者も大切にできる子
- 「か」かわる力
地域を誇りに思える子
- 「つ」たえる力
言葉で表現し理解できる子
- 「き」めたことをやりぬく力
自ら取り組める子



小高連携事業(10/31)

「き」めたことをやりぬく力を育む取組(城東小)
城東小では、姫路東高等学校校邦楽部の生徒と交流しました。箏曲演奏を鑑賞した後、6年生は高校生活などについて熱心に質問していました。この交流は、児童にとって将来の夢や希望を膨らませ、これからの自分の取組を考えるよいきっかけとなりました。



授業研究会(11/9)

「つ」たえる力を育む取組(東小)
東小では、日本語指導を必要とする児童を含めたすべての児童が学習で用いる言語を理解し、それをを用いて自分の考えを伝え合う授業を目指した研修を進めており、その一環として授業研究会を行いました。



ボランティア清掃(11/13)

「か」かわる力を育む取組(東光中)
東光中では、日頃お世話になっている地域への恩返しとして公園のボランティア清掃を行いました。活動を通して地域の人々とのつながりを感じたり、地域への愛着を持つたりすることができました。

「4つの力」を育むための取組
三日月を満月にする試みは既に始まっています。3校の取組を一部紹介します。